

花田っ子きらきら通信

姫路市立花田小学校
文責 校長 内海 行之

遊びも大切な学びの場として

先週の金曜日は、朝の時間に「学級あそび」、中間休みに「縦割り班あそび」と、子ども同士の横のつながりと縦のつながりを深める日でした。

私の時代には学校生活の中に設けられていなかった時間です。課外の時間に大勢で群れて、友達同士の絆を結ぶことを自然に行っていました。しかし、時代ですね。遊びの指導も、学校教育の大切な時間の一つとなりました。子どもたちは、この時間を通して友達の意外な一面、大勢で遊ぶことのおもしろさ、ルールを守るから遊びが楽しくなることなど、社会性・協調性の基礎を身に付けていきます。



すっかり縦割り班遊びが定着しています。これは最高学年としての6年生の素晴らしさに由るものです。1年から5年の児童も6年生を信頼し、望ましい異学年集団ができています。

【写真 左から、だるまさんがころんだ 片足じゃんけん その時間の反省・振り返り】



とっておきの話

【その1】

これは、過日のPTA理事会で紹介したことです。早朝2時間パートの用務員さんが、校長室で嬉しそうに話されたのです。「今朝、掃除をしていたら、子どもに、『いつもきれいにしてもらって、ありがとう。』と言われ、私の方もやる気が湧いてきました。」と。

いかがですか。9月の最初に紹介した「私たちにも手伝わせてください。」に匹敵する、よい話でしょう。このような言葉かけは、我々大人も見習うべきものと心得ます。自然と口に出た、このような言葉の持つ価値を広めていきたいと思えます。

【その2】

花田中の体育大会の素晴らしかったことは、前号でお知らせした通りです。ここでは、その時に三枝校長先生が私に話されたことをお伝えします。「小学校で掃除を黙ってする指導をしてもらっているおかげで、生徒の掃除態度がとてもいいです。あれが、ほかの生活の場面でも生かされている気がします。」

小学校で指導したことが確実に生徒の力になっていることをお聞きし、「黙々掃除」の継続を心に固くした次第です。